

横浜FC、チーム・アダプテーション、CA SOLUA武蔵

横浜FC、チーム・アダプテーション、CA SOLUA武蔵が連携し、視覚障害のある子どもたちが安心してサッカーを楽しめる場を継続的に提供。一人ひとりの見え方や特性に応じた工夫を重ね、仲間として共にプレーできる環境を整備。共に学び合い、多様性を尊重するインクルーシブな地域づくりを実践している。

取り組み内容

実施期間：2024年10月から毎月1回開催（継続中）

実施場所：神奈川県ライトセンター、横浜市立盲特別支援学校、保土ヶ谷スポーツセンター

取組内容：

「見え方が違って、同じピッチで思いきりプレーできる場所を」

横浜市には、視覚障害や見えにくさのある子どもたちが、安心して継続的にサッカーを楽しめる場が、まだ十分にありません。「サッカーをやってみたいけれど、ボールや仲間の動きが見えにくい」「一般のサッカースクールに参加しても、周囲と同じようにできるか不安」「同じような見え方の仲間や、将来の姿を想像できる大人に出会う機会が少ない」こうした声を背景に、横浜FC、一般社団法人チーム・アダプテーション、ロービジョンフットサルクラブCA SOLUA武蔵は、視覚障害のある子どもたちのためのサッカー教室を継続してきました。

参加するのは、弱視の子どもだけではなく。全盲の子ども、男の子、女の子、知的障害や発達障害を併せ持つ子どもなど、見え方や障害特性、年齢、運動経験の異なる子どもたちが参加しています。この教室で大切にしているのは、全員に同じ方法を当てはめることでも、見えにくい子どもに一方的に「特別な指導」をすることでもありません。一人ひとりの見え方、得意なこと、不安に感じること、理解しやすい伝え方を把握し、その子が安心して挑戦できる環境を、子ども本人や保護者と一緒につくることを大切にしています。

リスペクトとは、誰かに一方的に何かをしてあげることではありません。相手の声を聞き、その人が一人の仲間として参加できる方法を一緒に考え、必要に応じて自分たちの指導や環境を変えていくことだと、私たちは考えています。この教室で生まれているのは、視覚障害のある子どもたちへの支援だけではなく。子どもたちとの出会いを通じて、地域クラブ、指導者、選手、保護者の側も学び、考え方や行動を変え続けています。



<https://yokohamafc.com/2024/10/09/hometown-96/>

<https://yokohamafc.com/2025/12/25/hometownreport-237/>